

「自分を信じて正しい道歩む」

1学期に菊池恵楓園（合志市）を訪問させていただきました。見学していく中で、まず目に飛び込んできたのは、コンクリートでできた厚い壁でした。これが長い間、入所者と社会を切り離していた「高く厚い壁」なんだと思うと、悲しくなりました。

資料館では、入所者の方が壁に穴を開けた部を見ることができました。この穴からは、入所者の方たちの外に出たいという強い思いが伝わってきました。いろんな説明や、実際に自分の目で見えていく中で、私たちのこの社会がしてきた非人間的な行為は、決してあってはならないことで、これからも起こってはいけないことなのだと思います。

しかし、まだ現にハンセン病のことで差別や偏見が起こっています。そうしたことも含めて私たちが知り、次の世代に伝えていくことが大切だと思います。

講話の中で志村康さんは、私たちに「誠実に生きる」という言葉を贈られました。これから私は自分を信じて、真っすぐに正しい道を歩んでいきたいです。